

ニュースリリース
2026年3月25日

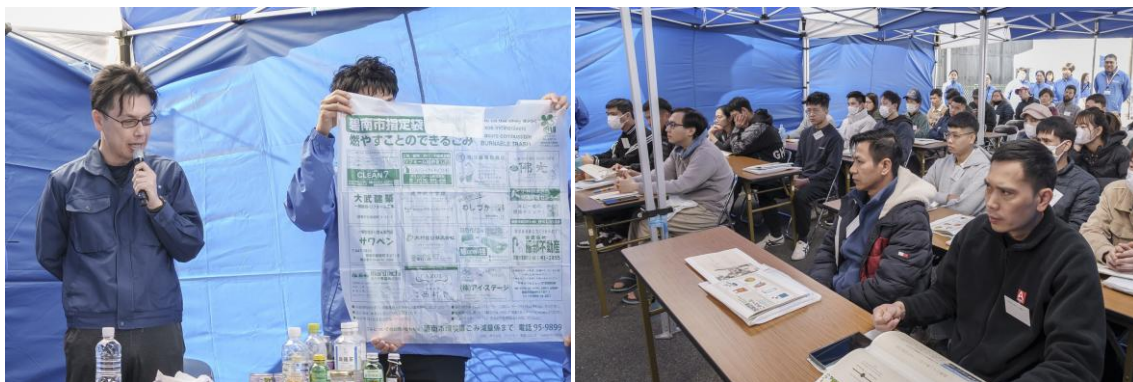
ビレッジハウス・マネジメント株式会社

きれいで暮らしやすい環境づくりを目指して 「知らない」から「できる」へ 外国人入居者と学ぶ“地域のごみ分別”イベントを開催

3月1日、愛知県碧南市「ビレッジハウス西端」でベトナム人など50人が参加

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、2026年3月1日（日）に愛知県碧南市の「ビレッジハウス西端」で「団地 de クリーン day～見て・やって学ぶ ごみの分別～」と題した、地域のごみ分別ルールを学ぶイベントを行いました。

本イベントは、日本独自のごみ分別ルールが外国人入居者にとって分かりにくいという課題を受け、きれいで暮らしやすい環境づくりの一環としてごみ分別への理解促進とマナー向上を図ることを目的に『知らない』から『できる』へ』をテーマに企画しました。「ビレッジハウス西端」に暮らすベトナム人やブラジル人など50人が参加し、講義やクイズを通して分別ルールを学び、実際にごみの分別を体験しました。



碧南市職員によるごみ分別ルールの解説（左）、真剣に講義を聞く参加者たち（右）

当日は、愛知県碧南市の協力のもと、碧南市のごみ分別ルールについて市指定のゴミ袋を用いて説明しました。また、分別ルールを確認する手段の一つとして、ごみ分別アプリを紹介し、参加者に活用を呼びかけました。続いて、ビレッジハウスによる講義・実演では、家庭から出る廃物の処理方法の実演見学に加え、クイズ形式で参加者に問いかけながら、ごみ分別のポイントを分かりやすく解説しました。楽しみながら学べるコンテンツを実施したことで、会場には一体感が生まれ、ごみ分別への理解がより深まりました。その後、新たに設置されたごみステーションを

確認しながら、ごみ出しの時間や利用ルールを改めて周知しました。これにより、日常生活の中で正しいごみ分別行動を実践するきっかけづくりを図りました。イベント終了後は参加者特典としてベトナム料理のキッチンカーの商品を提供しました。食事後に出たごみは、学びを生かし、参加者自身で分別を行いました。

「ビレッジハウス西端」は4棟160戸で構成され、145戸181人が居住しており、そのうち77%が外国人です。「ビレッジハウス西端」に住み始めて3年以内の人が約40%を占めています。日本での暮らしを始めて間もない外国人入居者に、母国語で情報提供を行い、正しいごみ分別方法の理解促進と入居者間の交流を図ることで、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、本イベントを実施いたしました。



多言語で書かれたごみ分別案内（左上）、ごみステーションの使い方を学ぶ参加者（右上）
飲み終わった飲料缶を用いたリサイクルマークの確認（左下）、食事で出たごみを分別する参加者（右下）

参加者からは、学びを生かしていきたいという意気込みが伝わってきました。

- ・ 「最近、家族が来日し、日本文化やマナーなどあまり知らなかったが、今回のイベントに参加することで家族全員にとってすごくよい勉強になりました。子どもが、これからごみ分別するのを手伝うと言っています」（30代・男性）
- ・ 「先生のレクチャーが楽しかったです。ベトナムでもごみを分別するように意識していますが、日本ほどルールは細かくありません。これから正しくごみを捨てるように頑張ります」（20代・女性）

ビレッジハウスでは、日本で暮らす外国人入居者に安心安全に過ごしてほしいとの思いから、日本特有の災害情報を提供する防災イベントや多文化共生の実現を目指したコミュニティイベントを実施しています。ごみの分別をテーマにしたイベントは初開催で、日本での生活に必要な情報を学べる機会として今後も全国の管理物件へと広げていく予定です。外国人入居者の皆さまが地域社会の一員として安心して暮らせる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

■開催概要

「団地 de クリーン day ～見て・やって学ぶ ごみの分別～」

日時：	2026年3月1日（日） 10:00～13:00
実施場所：	ビレッジハウス西端（愛知県碧南市平山町 3-16）
参加者：	ビレッジハウス西端に居住するベトナム人、ブラジル人など 50 人
物件：	「ビレッジハウス西端」 4 棟 160 戸で構成され、145 戸 181 人が居住、そのうち 77%が外国人
内容：	① 碧南市役所 職員による分別に関する説明 ・ごみルールの解説 ・分別アプリ「さんあーる」の解説 ② ビレッジハウスによる講義および実演 ・分別クイズ ・廃油処理の実演 ③ ごみステーションツアー ・新設ごみステーションでごみ出し時間を改めて周知 ・旧ごみステーションには廃棄できないことの説明 ④ キッチンカーでの食事、ごみ分別 ・食事後、容器の分別体験
主催：	ビレッジハウス・マネジメント株式会社
協力：	愛知県碧南市

ビレッジハウス・マネジメント株式会社について

ビレッジハウス・マネジメント株式会社は、全国 47 都道府県で 1,064 物件（2,960 棟、108,409 戸）※1 の賃貸住宅「ビレッジハウス」を運営、管理する国内最大級の賃貸住宅サービス会社です。独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が雇用促進住宅を民間に売却した際に、フォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供を開始しました。住宅を建て替えるのではなく、既存の建物を有効活用、長く使用することで低賃料を実現し、民間会社で唯一、大規模にアフォーダブル住宅※2 を提供しています。簡単な事務手続きで、あらゆる世代の単身者、ファミリーの他、外国人や法人の社宅としてもご利用いただけるよう、今後も継続的な供給を維持しながら、よりよい日本の住宅環境を築くことを目指します。

※1 2026 年 3 月 1 日時点の戸数

※2 誰もが生活の質を保ち、手頃な家賃で安心して長く住み続けられる住宅

2026 年 3 月 1 日現在、1,090 名の従業員を擁し、東京本社に加え全国 7 支社を展開、入居にかかる募集から受付、審査、物件管理まで自社一貫のサポート体制を整え、法人向けサービスの拡充にも取り組んでいます。また、多言語対応の強化や 565 名の住宅担当者による物件の巡回で、入居後も安心してお住まいいただけるよう住宅環境の整備も行っています。

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社

<https://www.villagehouse.jp/>

本 社：東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 4 階

設 立：2016 年 12 月 21 日

本件に関するお問い合わせ

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社 事業戦略本部 広報担当

E-mail：yhm-PR@villagehouse.jp